

意見の概要と市の考え方 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)に係るパブリックコメント手続

* ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約または分割して掲載させていただきましたので、ご了承ください。

| # | 意見の概要 | 市の考え方 | 案の修正 |
|---|--|---|------|
| 1 | <p>全般</p> <p>何をやるにもこういった俯瞰したデータが欲しかった。千葉市の置かれた地理的位置や商圈、郡部住民の千葉市との行政サービスや利便性の比較から来る人口移動は感覚的に感じていたが、これからの千葉市将来の形成のために秩序の必要性を感じる。どう調整するか現状分析や指針のないまま進むのを心配していたところ、やっと企業並みにデータでものを云うベースが出来て市政に期待が持てて来た。 このデータをどう読むか、レクチャーをして効果を上げる必要がある。 市の職員に、未来志向型の柔軟な思考力を持つ人をどう育て活かすかということも大きな問題。この総合戦略を理解して答えを見つけられる人を指導して行ってほしい。 市政に期待するが、市民との乖離も大きくなってきたと感じる。浸透を図るため市長の出前講座も企画する必要がある。</p> | <p>「要望」としてありましたように、職員の育成や市民理解の促進については、次のステップとして取り組まなければならない課題と認識しております。 今後様々な機会を通じ、また手法も工夫しながら積極的なPRを行い、市民の皆様とともにまちづくりを進めていけるよう努めてまいります。</p> | 無 |
| 2 | <p>総合戦略</p> <p>(P90 重点戦略1) 「自立した“ちば”共創都市圏で、わたしたちが果たす役割の追求」とあるが、一般の人にはよく分からないのではないか。 言葉遊びではないので、もっと分かりやすい表現にならないか。</p> | <p>東京圏における独自性を共有する自治体同士が、それぞれの持つ資源を活かしながら、自治体という枠を超えて連携し合うことで、新しい価値観を共に創ることを、“ちば”共創都市圏と表現しています。 この趣旨については、「人口ビジョン」の「2(4)東京圏における千葉市の独自性(まとめ)」や、「総合戦略」の「重点戦略1」の中でご説明させていただいております。 上述の趣旨を市民の皆様にご理解いただけるよう、今後も様々な機会を通じご説明してまいります。</p> | 無 |
| 3 | <p>(P97、P117 重点戦略2、重点戦略5) 「ハラル食などの食習慣に対応できるおもてなし体制を官民連携して整え、それらの周知を図るために効果的な情報発信を行う。」について、 特定の宗教の食品促進事業に資金や人的支援をすることは憲法第20条第3項の「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」に抵触する可能性がある。事業を再検討すべきである。</p> | <p>ハラル食に対応できるおもてなし体制の整備については、資金支援や人的支援を行うものではなく、ムスリムからのインバウンドを取り込むため、飲食や宿泊等、市内事業者に対しムスリムの食文化を理解してもらうものです。当該行為が宗教教育、宗教的活動に該当するとは考えがたく、憲法第20条第3項に抵触する可能性はないと考えております。</p> | 無 |
| 4 | <p>(P95 重点戦略2) 「地産地消の推進」について、千葉市ならではの生産物を開発、差別化等によって農家の収入をはかり、新規就農者への支援策の充実を図ることを追加すべき。</p> | <p>新規就農者への支援の重要性は認識しており、重点戦略2、施策(5)の中でも、「農業の担い手育成」といった形で事業を位置付けております。 これに加え、地産地消の推進や、伝統野菜のブランド化、消費地に近い本市の農業の利点を活かした市産農産物の活用促進といった事業と連携を図りながら、全体としての農家の所得向上に取り組んでまいります。</p> | 無 |

| # | 意見の概要 | 市の考え方 | 案の修正 |
|---|--|--|------|
| 5 | 総合戦略 (P100 重点戦略3) 人口減少・少子超高齢社会に果敢に挑戦するというなら、重点戦略の中に、子ども自身が楽しく育つような施策を含めるべきではないか。 「出産・子育ての希望をかなえ・・・」とあるが、それは必要なことだとしても親の支援。子どもに直接働きかけるような施策が同時にあっても良いのではないか。 | 千葉市の未来を担う「子ども・若者」の視点が、「まち・ひと・しごと創生」に重要であることは、認識しております。総合戦略の中では、重点戦略3の「施策(4)若さにあふれた活気あるまちづくり」の中で、「子ども・若者」に様々な形で、まちづくりに参加していただくための事業を位置付けております。 | 無 |
| 6 | (P102 重点戦略3) 施策(2)充実した教育・保育の提供について、 保育士等の確保には資格取得支援のほかに、居住費の支援等も検討してはどうか。 | 保育士等の確保のため、居住費の支援等も含めた取り組みについても、他都市の動向等を踏まえ、今後検討してまいります。 | 無 |
| 7 | (P102 重点戦略3) 施策(2)充実した教育・保育の提供について、 子どもルームの拡充については、受け入れ枠の拡大とともに、スペースの確保等環境整備も図ること。 | 一人あたりの基準面積を確保した上で、受入枠の拡大に努めてまいります。 | 無 |
| 8 | (P124 重点戦略7) 未来へと引き継がれる「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の創出について、 レガシーという言葉はまだ一般的ではない。日本語でうまく表現していただきたい。 | 「レガシー」は、直訳すれば「遺産」となりますが、オリンピック・パラリンピックに関連して用いられる「レガシー」という言葉については、スポーツ、まちづくり、文化、経済といった幅広い分野において、大会後も残る有益な有形・無形の財産という前向きな意味が込められた言葉として定着しているもので、そのままの表現で使用する方が適切であると考えております。 日本語でうまく表現してほしいとのご意見の趣旨は十分に理解しておりますが、オリンピック・パラリンピックに向けた様々な活動を行っていく中で、「レガシー」という言葉の持つ趣旨や意義の理解促進に努めてまいります。 | 無 |